

# 市政ホット ニュース

hot news!

都心まちづくり計画の概念図



hot news

## 魅力と活力ある都心づくりを目指し 今後20年間の取り組みを体系化

駅前通を「にぎわいの軸」、大通を「はくくみの軸」に

今後二十一年間に商店街、民間企業、行政などが進めるべき、都心に関する取り組みの方向性を定めた「都心まちづくり計画」を策定しました。

この計画は、有識者や事業者、障害者団体の代表などと市が共同で組織する都心のまちづくり計画策定協議会が中心となって策定し、昨年七月には、ビジョンの形で中間報告を市民の皆さんに公表。それに寄せられた意見を取り入れながらまとめたものです。

計画ではまず、まちづくりの目標を、「都市生活の魅力を誰もが味わえ、『世界都市さつぽろ』の魅力を表現し続ける都心」と定め、札幌駅前通を「にぎわいの軸」、大通を「はくくみの軸」とするなど、四つの骨格軸を設定しています。また、それらが交差する部分など三力所を、新たな活動や交流を生み出す拠点と位置付け、それぞれに目標などを定めています。

さらに、これらと連動しな

がら、広がりをもってまちづくりを進める地区として五つのターゲットエリアも設けました。

これらのまちづくりを進める上では、市のほか、個別の事業主体や地区別組織、市民の皆さんなどの役割を明らかにし、連携して実行性を高めていくことにしています。

また、この計画の実現に向けて、おおむね五年以内に取り組みべき施策や事業を整理した「中心市街地活性化基本計画」も策定。特に重点的にまちづくりを展開すべき地区を「まちづくり促進地区」に指定し、民間事業を積極的に支援していきます。

両計画の概要をまとめたパンフレットを七月八日(月)から区役所や市役所五階都心まちづくり推進室などで配布するほか、ホームページ <http://www.city.sapporo.jp/kikaku/downtown> でも公開しています。

詳細 都心まちづくり推進室  
☎(211)2692

ターゲットエリア(ターゲット=標的、エリア=地域で、まちづくりに力を入れる地区のこと)